

飛込プール公認チェックシート

プールの名称		屋外・屋内 (いずれかを○で囲む)	プールの所有者
プール躯体の材質		所在地	

チェック内容

1. 飛込プール

項目	規定	実値	項目	規定	実値	項目	規定	実値	項目	規定	実値
プール底の最大傾斜角	30°		最浅箇所の水深	1.80m		天井最大傾斜角(室内)	30°		競泳プールとの間隔	屋外10.0m 室内 8.0m	

(国内基準・国際基準のいずれかを○で囲むこと)

2. 10m台

符号	項目	国内基準プール	国際基準プール	実地	
				No.1	No.2
A	プール後方壁との距離	1.50			
A/A	基線から直下のプラットフォーム基線	1.25			
B	プール側方壁との距離	5.75			
D	プール前方壁との距離	13.50			
C	隣接する軸線間の距離	3.00			
E	台から天井までの距離	5.00			
G	基線前方の上方空間	6.00で5.00			
F	基線後方・両側の上方空間	2.75で5.00			
	天井の最大傾斜角	30°			
H	基線上の水深	5.00			
J K	基線前方への距離と水深	11.00で4.75			
L M	基線両端への距離と水深	5.25mで4.75			
N	プール底の最大傾斜	30°			
	固定台の幅	3.00			
	固定台の長さ	6.00			
	固定台の先端の厚さ	0.30以下(0.20が基本)			
	固定台の先端の内側傾斜角	10° 以内			

3. 7.5m台

符号	項目	国内基準プール	国際基準プール	実地	
				No.1	No.2
A	プール後方壁との距離	1.25			
A/A	基線から直下のプラットフォーム基線	1.25			
B	プール側方壁との距離	4.75			
D	プール前方壁との距離	11.00			
C	隣接する軸線間の距離	2.75			
E	台から天井までの距離	3.50			
G	基線前方の上方空間	5.00で3.50			
F	基線後方・両側の上方空間	2.75で3.50			
	天井の最大傾斜角	30°			
H	基線上の水深	4.50			
J K	基線前方への距離と水深	8.00で4.40			
L M	基線両端への距離と水深	4.50で4.40			
N	プール底の最大傾斜	30°			
	固定台の幅	2.00			
	固定台の長さ	6.00			
	固定台の先端の厚さ	0.30以下(0.20が基本)			
	固定台の先端の内側傾斜角	10° 以内			

4. 5m台

符号	項目	国内基準プール	国際基準プール	実地	
				No.1	No.2
A	プール後方壁との距離	1.25			
A/A	基線から直下のプラットフォーム基線	1.25			
B	プール側方壁との距離	4.50			
D	プール前方壁との距離	10.25			
C	隣接する軸線間の距離	2.85			
E	台から天井までの距離	3.50			
G	基線前方の上方空間	5.00で3.50			
F	基線後方・両側の上方空間	2.75で3.50			
	天井の最大傾斜角	30°			
H	基線上の水深	3.80			
J K	基線前方への距離と水深	6.00で3.70			
L M	基線両端への距離と水深	3.50で3.70			
N	プール底の最大傾斜	30°			
	固定台の幅	2.90			
	固定台の長さ	6.00			
	固定台の先端の厚さ	0.30以下(0.20が基本)			
	固定台の先端の内側傾斜角	10° 以内			

5. 3m飛板

符号	項目	国内基準プール	国際基準プール	実地	
				No.1	No.2
A	プール後方壁との距離	1.80			
B	プール側方壁との距離	3.50			
D	プール前方壁との距離	10.25			
C	隣接する軸線間の距離	2.60			
E	板から天井までの距離	5.00			
G	基線前方の上方空間	5.00で5.00			
F	基線後方・両側の上方空間	2.50で5.00			
	天井の最大傾斜角	30°			
H	基線上の水深	3.80			
J K	基線前方への距離と水深	6.00で3.70			
L M	基線両端への距離と水深	2.50で3.70			
N	プール底の最大傾斜	30°			
	飛板の材質	-			
	飛板の長さ	4.88			
	飛板の幅	0.5			
	支持台上面と飛板上面の距離	ローラーが支持台先端から0.44mのとき	0.35		

6. 1m飛板

記号	項目	国内基準プール	国際基準プール	実地	
				No.1	No.2
A	プール後方壁との距離	1.80			
B	プール側方壁との距離	2.50			
D	プール前方壁との距離	9.00			
C	隣接する軸線間の距離	2.00			
E	板から天井までの距離	5.00			
G	基線前方の上方空間	5.00で5.00			
F	基線後方・両側の上方空間	2.50で5.00			
	天井の最大傾斜角	30°			
H	基線上の水深	3.50			
J K	基線前方の水深	5.00で3.40			
L M	基線側方の水深	2.00で3.40			
N	プール底の最大傾斜	30°			
	飛板の材質	-			
	飛板の長さ	4.88			
	飛板の幅	0.5			
	支持台上面と飛板上面の距離	ローラーが支持台先端から0.44mのとき	0.35		

7. 記入上の注意

- 特に指定のない規定数値は、最小寸法(単位メートル)を示す。
- 規定値に対する許容幅。
①高さ 0m～+0.05m
②水深 -2パーセント
- 各符号については規則参照のこと。
- Bの寸法は側壁に最も近い飛込台、又は飛板につき記入のこと(配置が片側のときは2基、向いあって両側にあるときは各2基、計4基)。
- CおよびLMの寸法は、左右いずれか小さい数値を記入のこと。(10m飛込台を中心とした場合、Cの寸法は10m台よりはじめて左右それぞれ順次に測定のこと)。
- Fの寸法は、最も小さい数値を記入のこと。
- E、G、Fは屋内プールの場合のみ記入のこと。
- 1mおよび3m固定台を設置するときはチェック内容を別紙で添付すること。
- 1mおよび3m固定台の幅の()内は、望ましい値。

公認測量者署名

Ⓞ

審査担当委員署名

Ⓞ

飛込委員長署名

Ⓞ